

本スライドは、当日のセミナー資料の一部を抜粋したものです。



アジャイル開発とスクラム

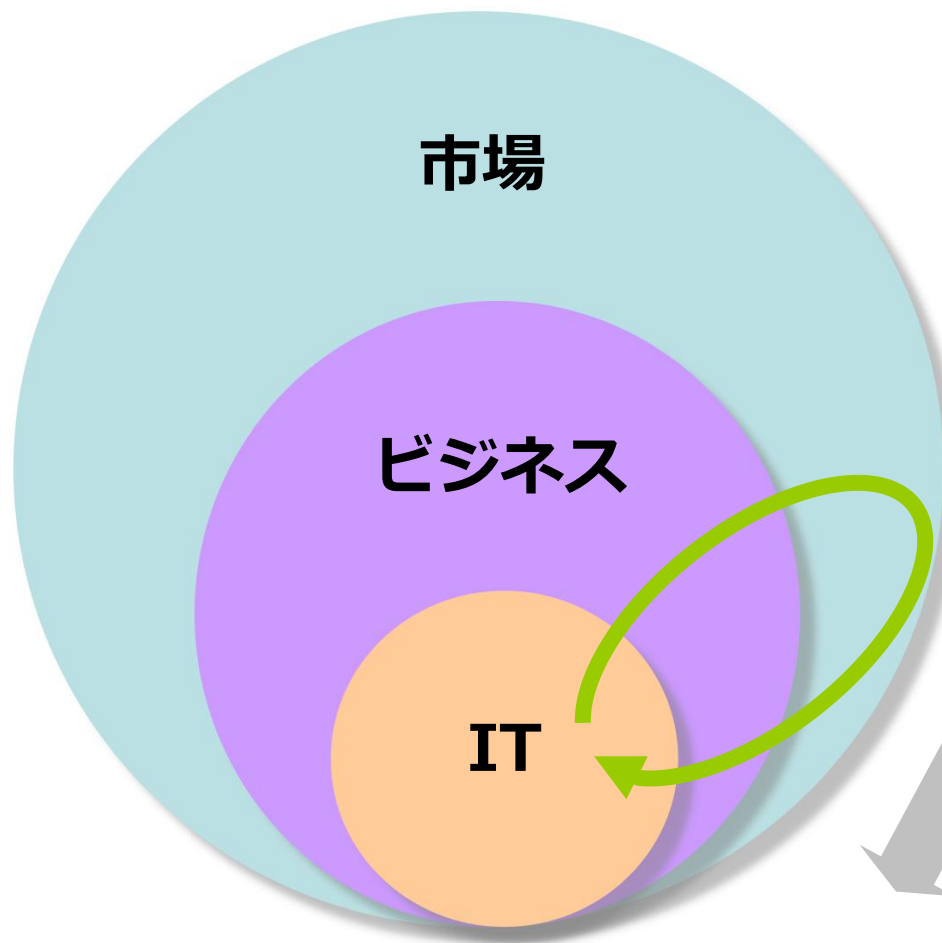
株式会社チェンジビジョン
株式会社永和システムマネジメント
平鍋健児

«講演概要» アジャイル開発とスクラム

「繋がる組込みの時代」の到来に伴い、新たな知見を獲得しながらシステム開発を進める「アジャイル開発」の有効性が注目されている。これは欧米手法の輸入と捉えられがちだが、その根底には、80年代日本の製造業で行われていた暗黙知を利用した新製品開発手法がある。特に「スクラム」という名前は、野中郁次郎らが1986年に書いた論文に由来しており、そこには、製品への要求を顧客との共体験を通して学び取りする開発チームのありかたが生き生きと記述されている。

この小セッションでは、アジャイル開発の概要をおさらいした後、組込み開発の現場でも活かせるアジャイル開発の具体手法、背後の知識創造モデル等を事例を通してお話しすることで、海外に負けない、日本流の新しいイノベーションを応援したいと思う。

ミッション・リスク共有型ビジネスと Agile型開発



ビジネスとITが一体になった「OneTeam」を作り、ミッションとリスクを共有する。
やってみて、結果から戦略を作りながら進む。

アジャイルのゴール

ビジネス価値、
顧客満足、市場創造

アジャイルの レフトウィング

ソーシャルプラクティス

協働でゴールに
向かう
「チーム環境」

朝会
タスクかんばん
バーンダウンチャート
ふりかえり

…
その他

アジャイルの ライトウィング

技術プラクティス

高速に石橋を
叩いて渡る
「開発環境」

継続的インテグレーション
テスト駆動開発
リファクタリング
ペアプログラミング

…
その他

Nonaka's Text

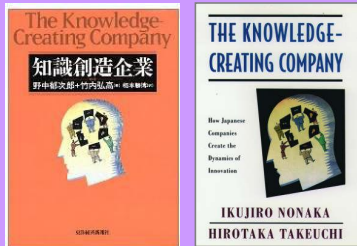
Agile/Scrum (Software)

“The New New Product Development Game” 1986

“Scrum”

“The Knowledge Creating Company”(HBR) 1991

SECI-model



アメリカ海兵隊(U.S. Marine) 1995

Fractal Organization

Org. Patterns(by Jim Coplien) (at PLoP)

First Sprint of Scrum by Jeff Sutherland

Second Sprint of Scrum (with Cope's Ideas)

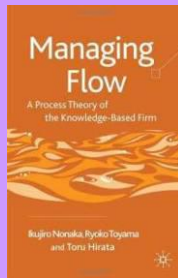
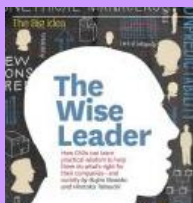
Scrum Master

Daily Scrum

“Agile Software Development with Scrum” (by Ken Schwaber, Mike Beedle)

2001

“The Agile Manifesto”

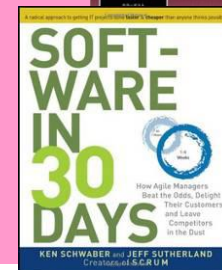


“Managing Flow” 2008

“Wise Leadership”(HBR) 2010

2012

“Software in 30 days”



2013

“アジャイル開発とスクラム-顧客・技術・経営をつなぐ協調的ソフトウェア開発”

Collaborative Software Development That Connects Customers, Engineers, and Management

Phronetic Leadership



野中郁次郎

The New New Product Development Game(HBR)

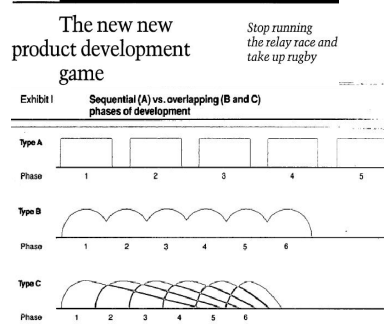
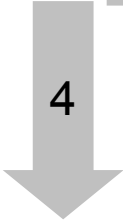
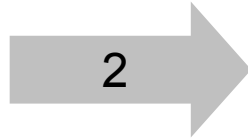
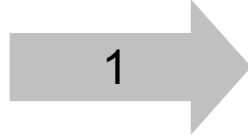


U.S. Marine



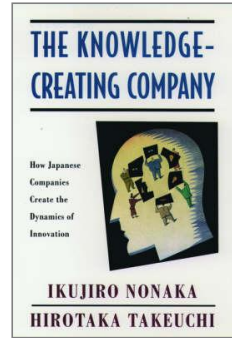
フラクタル組織
どの階層においても、
自己相似形

TS-4



Scrum

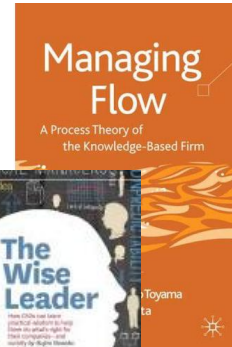
リレーからラグビーへ



The Knowledge Creating Company

SECIモデル

暗黙知と形式知のスパイラルな
変換活動が、知識創造過程である



Managing Flow, The Wise Leadership(HBR)

実践知フロネシス

形式知と暗黙知を繋ぐ、実践知。

